

妊娠高血圧症候群 2015

知識と支援をアップデートしよう！

産科領域における代表的疾患の1つであり、
全妊婦の2～7%が発症する妊娠高血圧症候群。

近年、高齢出産の増加により、
妊娠高血圧症候群への対応が重要になってきています。

本特集では、妊娠高血圧症候群の基礎知識を振り返るとともに、
最新のエビデンスや情報を紹介します。

また、助産師による臨床での実践として、
早期発見や予防教育のほか、
軽症・重症によって異なる、発症後のかわりについてもお伝えします。

妊娠婦と児の安全を確保するために必要な知識と
支援の実践について、再確認していただけたらと思います。

